

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2023年3月31日】第159号



食品加工を学ぶ

3月7日(火)、3年生の稲花タイムでは、東京農業大学食品加工食品加工技術センター野口智弘教授による「とうふの作り方」の授業が行われました。豆乳はにがりによって、どのように固まるのか、実際にその様子を見せていただきました。3年生は稲花タイムでの「豆ってなーに」の授業、エダマメ栽培、さらにキッコーマン株式会社によるしょうゆ塾、国語では「すがたをかえる大豆」……とダイズについて学んだ一年間の総まとめとも言えます。子どもたちは、豆腐を固める容器とにがりを持ち帰りました。春休みの家庭実習として、豆腐づくりに取り組みます。ご家族とともに豆腐づくりを楽しんでほしいと思います。休み明けに、その報告を聞くのも楽しみです。

また、3月9日(木)、2年生の稲花タイムは、同じく野口智弘教授による「おだんご」の授業でした。お団子と白玉団子の違いなど、知らないお話もたくさん聞くことができました。早くお団子を作りたいなーという声も聞かれた授業の後、子どもたちは米粉を家庭に持ち帰りました。春休みの家庭実習でお団子作りに取り組んでもらうのです。親子でお団子作り、さぞ楽しいことでしょう。なお、この米粉は東京農業大学の校友(卒業生)が活躍する日の本穀粉株式会社から寄贈していただきました。一口に米粉といっても、使う目的に合わせて最適化し、粒の大きさや、加水時の様子が異なる製品を作っているそうです。

新しい学年はもうすぐ

3学期になると子どもたちは、新しい学年になることを意識しはじめます。1番年下の1年生にも、下級生ができるのです。また、1期生である現4年生は、農大稲花小初の5年生となります。新しい机や椅子も搬入されました。1年生を迎えるチューリップも成長しています。

一方、本校では子どもたちがお世話になった教職員の退職や異動もあり、寂しい思いをする子どもたちも多かったです。最後の授業で、折り紙のプレゼントがあったり、さよなら、ありがとうを言い集まったりと、やさしい気持ちがいっぱいの子どもたちでした。

新年度は、新しい先生をお迎えし、クラス替え、担任替えなどもあり、新しい気持ちでスタートとなります。子どもたちとともに、学校も成長してまいります。

修了式

3月17日(金)は修了式でした。3学期が終わるだけでなく、年度の終わりでもあります。子どもたちには、自分自身の1年間の成長を振り返ることの大切さ、そして、お世話になった教職員、給食や警備、清掃の方々、アフターのスタッフ、そして何よりいつも見守ってくださるご家族にも感謝の気持ちを持つことの大切さを伝えました。持ち帰った成績表「みのり」は、子どもたちのがんばりを示すものです。できなかったことだけでなく、伸びたところをも十分に評価して、新しい学年を迎えてほしいものです。

第1回オーストラリア短期留学

3月18日(土)夜、4年生の希望者33名と引率教員2名は、農大稲花小第1回オーストラリア短期留学に出発しました。オーストラリアクィーンズランド州の2つの小学校で学び、全期間、ホームステイを経験しました。

1年生から毎日ずっと勉強してきた英語の力を試し、また、多様性に満ちた世界に触れる機会です。親元を離れ、自立・自律も求められます。1人の子どもに1人から3人くらいのバディ(学校生活の相棒！ですね)がついて、子どもたちの学校生活を助けてくれました。休み時間の長いことや、長い休み時間には自由にスナックや果物を食べていいことなど、子どもたちにはびっくりするようなことがたくさんありました。農大稲花小の子どもたちが積極的に、バディやホームステイファミリーと話したり、遊んだりしている姿も立派でした。学校が3時までには終わるので、それから日没までは、ビーチや公園でサッカーをしたり、釣りをしたり、噴水の下で水浴びをしたり、と伸び伸びと過ごせたのも楽しかったことでしょう。

最終日は、日本の文化についてのプレゼンテーションをしました。英語でのプレゼンテーション、さぞドキドキしたことでしょう。しかし、堂々と発表している様子は、うれしいものでした。最後は、歌「水平線」を披露し、オーストラリアの子どもたちを巻き込んで「WAになって踊ろう」を踊り、名残を惜しみました。

28日(月)に帰国し、ご家族に暖かくお迎えいただきました。一回り成長したお子様の様子を見ていただけたことでしょう。この経験を糧に、5年生からの学びがさらに充実することを願っています。

明日から新年度です

明日4月1日(土)からは新年度。学校法人東京農業大学でも辞令交付ほかが行われ、新しい教職員を迎える日でもあります。

職員室では新年度の準備が進んでいます。授業、農作業、見学、遠足、宿泊学習……たくさんの方々にお世話になっての1年でした。お世話になった皆様には、心からの御礼を申し上げます。また、「冒険心の育成」を教育理念として、新しい小学校文化の創造をめざす農大稲花小の方針を十分に理解し、学校と一体となって子どもを育てようとするご家庭の保護者には、日々、ご協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。

新年度も、どうぞよろしく願いいたします。

東京農業大学稲花小学校
校長 夏秋 啓子